

地域総合研究所2012（平成24）年度研究活動計画

茨城大学地域総合研究所長 井上拓也

2012（平成24）年度も、地域における学際的な研究活動、および地域における講師や委員などの連携活動を柱として活動を推進していく。またそのためにも、科学研究費補助金を初めとする研究資金の獲得、および学内他機関や地域の自治体・企業・非営利組織との連携をさらに進めていく。

1. 地域における学際的な研究活動

(1) 研究例会（毎月第4水曜日）

- ① 「地域社会と原子力」研究グループ
- ② 「水辺環境」研究グループ
- ③ 「市民社会・公共性」研究グループ
- ④ 「地域とグローバリゼーション」研究グループ
- ⑤ 「中山間地域」研究グループ

なお必要に応じて水戸キャンパス以外での開催も検討する。

(2) 鹿嶋研究センター

大学と鹿嶋市の包括協定に基づき、次のような活動を予定している。

- ① 定期的な研究会の開催
- ② 共同調査研究

(3) 大洗ライフスタイル研究会（随時開催）

- ① ライフスタイル調査の実施
- ② 大洗ライフスタイル実践モデルの開発・実験

(4) ひたち未来研究会（随時開催）

こうがく祭、あるいはその他の機会に、工学部の所員が中心となって、シンポジウムの開催し、市民参加型の研究活動を実施する。

(5) 年報

地域研の最大の研究成果である『茨城大学地域総合研究所年報』を、来年度も確実に刊行する。

2. 地域における講師や委員などの連携活動

所員・客員研究員の市民講座講師や各種審議会等委員への就任を奨励するとともに、研究所全体としても、自治体や非営利組織との包括的な連携活動を進めていく。

なお地域研それ自体としても、上記の研究例会とは違う形で、地域の住民などを対象として、政策課題の発見・解決を目的とした研究会・勉強会を定例化したいと考えている。

3. 運営体制

(1) 運営委員会

例年、年度末の3月に開催しているが、学術振興局に属する大学全体の機関としての位置づけを持つことから、説明責任を果たすためにも、来年度は複数回の開催を予定する。またその際には、工学部と農学部の運営委員会委員も参加しやすくなるような工夫をする。

(2) 所員会議

例年通り、研究例会の後に開催する。ただし必要に応じて、水戸キャンパス以外での開催も検討する。

(3) 2012 (平成24) 年度委員 (予定も含む)

所 長	井上 拓也 (人文)
鹿嶋研究センター長	斎藤 義則 (人文)
研究主任	①「地域社会と原子力」研究グループ 熊沢 紀之 (工学)
	②「水辺環境」研究グループ 原口 弥生 (人文)
	③「市民社会・公共性」研究グループ 中田 潤 (人文)
	④「地域とグローバリゼーション」研究グループ 稲葉奈々子 (人文)
	⑤「中山間地域」研究グループ 斎藤 義則 (人文)
	⑥「消費者問題」研究グループ 井上 拓也 (人文)
研 究 (研究例会)	原口弥生 (人文)
庶 務 (所員会議)	木村昌孝 (人文)
年 報 (出版編集)	井上拓也 (人文)
情 報 (雑誌交換・HP)	渋谷敦司 (人文)
会 計 (調査研究費)	乾 康代 (教育)
点検評価	所長, 鹿嶋研究センター長, 研究, 庶務, 年報, 情報, 会計の 各委員で構成し, 所長が統括する。